

第 6 期射水市障がい福祉計画・第 2 期射水市障がい児福祉計画 進捗状況

I 障がい福祉サービス

(1) 訪問系サービス

居宅介護	自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行う
重度訪問介護	重度の肢体不自由者又は重度の知的障がい者若しくは精神障がいにより行動上著しい困難がある方で、常に介護を必要とする方に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援、入院時の支援等を総合的に行う
同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難がある方が外出するとき、必要な情報提供や介護を行う
行動援護	自己判断能力が制限されている方が行動するとき、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う
重度障がい者等包括支援	介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行う

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
居宅介護	人/月	30	31	33	31	27	38	40
	時間/月	235	303	332	278	250	380	400
重度訪問介護	人/月	—	—	—	0	1	1	1
	時間/月	—	—	—	3	411	240	240
同行援護	人/月	14	12	11	10	9	16	17
	時間/月	311	169	156	179	178	320	340
行動援護	人/月	2	2	6	7	7	7	8
	時間/月	9	38	60	96	102	70	80
重度障がい者等包括支援	人/月	—	—	—	—	—	0	1

※表中の符号等の用法は、実績の値の「—」は皆無、「0」は単位未満（0.5未満） <以下同様>

**【第6期計画期間中の状況】**

重度訪問介護は、令和4年1月から1名利用が始まり、利用時間は見込量を上回っている。夜間早朝のサービス提供時間が確保されたことによる。

同行援護は、利用人数、利用時間ともに見込量が下回っている。新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えが一定程度あったことによるものと思われる。

行動援護は、利用者数は横ばいだが、利用時間は前年度実績を上回っている。

(2) 日中活動系サービス

生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する
自立訓練（機能訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の維持、向上のために必要な訓練を行う
自立訓練（生活訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う
就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う
就労継続支援（A型）	一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う
就労継続支援（B型）	一般企業での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う
就労定着支援	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行う
短期入所	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う
療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行う

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
生活介護	人/月	256	253	256	257	261	265	270
	日/月	4,980	5,093	4,955	4,884	4,982	5,300	5,400
自立訓練 （機能訓練）	人/月	2	2	2	0	—	4	5
	日/月	38	33	31	1	—	72	90
自立訓練 （生活訓練）	人/月	2	0	—	1	1	4	5
	日/月	22	0	—	25	31	60	75
就労移行支援	人/月	18	3	5	6	5	16	17
	日/月	307	61	73	98	85	320	340
就労継続支援A型	人/月	87	90	96	108	108	97	99
	日/月	1,654	1,715	1,789	2,019	2,052	1,940	1,980
就労継続支援B型	人/月	124	160	159	170	180	165	170
	日/月	2,004	2,553	2,510	2,683	2,839	2,970	3,060
就労定着支援	人/月	—	2	2	4	3	4	6
短期入所 （福祉型）	人/月	32	29	22	17	13	40	45
	日/月	182	132	91	60	42	200	225
短期入所 （医療型）	人/月	9	7	4	4	5	10	11
	日/月	40	30	18	31	24	50	55
療養介護	人/月	28	28	28	28	27	29	30

【第6期計画期間中の状況】

自立訓練（機能訓練）利用者は、令和3年度からゼロとなり、見込量を下回っている。

就労継続支援A型・B型の利用者数は、見込量に対して約10パーセント増えているが、利用日数はA型が約5パーセント増、B型は約5パーセント減となっている。

短期入所（福祉型・医療型）は、利用者数、利用日数ともに見込量を大きく下回っている。

新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが一定程度あったことによるものと思われる。

### (3) 居住系サービス

自立生活援助	一人暮らしに必要な理解力・生活力を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行う
共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活上の援助を行う
施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
自立生活援助	人/月	—	—	—	—	—	0	1
共同生活援助 (グループホーム)	人/月	41	48	47	52	57	51	52
施設入所支援	人/月	108	107	107	107	107	106	105

#### 【第6期計画期間中の状況】

共同生活援助利用者数は年々微増しており、見込量を上回っている。  
施設入所者数は横ばいとなっている。

### (4) 相談支援

計画相談支援	サービス等利用計画の作成、事業者等との連絡調整、サービス等の利用状況等の検証（モニタリング）等を行う
地域移行支援	住居の確保等、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各種障がい福祉サービス事業所への同行支援を行う
地域定着支援	常時、連絡体制を確保し、障がい特性に起因して生じた緊急事態等における相談、障がい福祉サービス事業所等と連絡調整など、緊急時の各種支援を行う

サービス名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
計画相談支援	人/月	111	158	134	139	138	150	160
地域移行支援	人/月	—	0	0	0	0	2	3
地域定着支援	人/月	1	1	1	1	1	2	3

#### 【第6期計画期間中の状況】

計画相談支援利用者は横ばいとなっている。

## 2 児童福祉法に基づく障がい児支援

児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行う
医療型児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行う
放課後等デイサービス	授業の終了後又は休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のための必要な訓練、社会との交流促進などの支援を行う
保育所等訪問支援	保育所、乳児院・児童養護施設等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行う
居宅訪問型児童発達支援	重度の障がい等により外出が困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行う
障がい児相談支援	サービス等利用計画の作成、事業者等との連絡調整、サービス等の利用状況等の検証（モニタリング）等を行う

サービス名	単位	第1期障がい児福祉計画			第2期障がい児福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
児童発達支援	人/月	57	55	55	61	56	58	59
	日/月	337	279	281	298	281	348	354
医療型児童発達支援	人/月	4	4	1	0	—	5	6
	日/月	27	20	8	1	—	30	36
放課後等デイサービス	人/月	106	107	127	146	152	120	125
	日/月	1,120	1,213	1,523	1,779	1,822	1,320	1,375
保育所等訪問支援	人/月	0	—	0	0	0	1	2
	日/月	0	—	0	0	0	1	2
居宅訪問型児童発達支援	人/月	—	—	—	—	—	0	1
	日/月	—	—	—	—	—	0	1
障がい児相談支援	人/月	20	34	43	45	45	36	37

### 【第6期計画期間中の状況】

児童発達支援の利用者数は、概ね計画通りに推移しているが、利用日数は見込量を下回っている。

医療型児童発達支援の利用者は減少傾向にあり、令和4年度は実績ゼロとなっている。

放課後等デイサービス、障がい児相談支援の利用者、利用日数は年々増加しており、いずれも見込量を上回っている。

### 3 地域生活支援事業

意思疎通支援	聴覚・音声・言語機能障がいのある方に対し、地域生活の円滑化、社会参加の向上を図るため、手話通訳者又は要約筆記者を派遣する
日常生活用具給付	障がいのある方の自立の支援、社会参加の促進を図るため、日常生活をより円滑に行うための用具を給付又は貸与する 給付内容：介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排せつ管理支援用具、居宅生活動作補助用具
移動支援	屋外での移動に支援が必要な人に対し、自立生活と社会参加を図るため、外出支援を行う
地域活動支援センター	気軽に相談ができ、昼間、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う
成年後見制度利用支援	身寄りが無い、親族が申立を行うことができない等の理由で成年後見制度の申立ができない障がい者に対して、親族に代わり市長が申立を行う また、後見人等の報酬費用の負担が困難な方に対し助成を行う
日中一時支援	自宅で介護する人の不在時や一時的な休息を図るために、昼間、施設で障がい者・児のも守りや預かり等の支援を行う
訪問入浴サービス	自宅の浴槽での入浴が困難な在宅の身体障がい者を対象に、居宅で訪問入浴車両により、入浴サービスを提供する

#### (1) 必須事業

事業名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
相談支援事業所	設置数	1	1	1	1	1	1	1
意志疎通支援事業	利用件数	88	78	47	72	69	88	91
	事業所数	1	1	1	1	1	1	1
日常生活用具給付事業	給付件数	2,332	2,265	2,205	2,218	2,327	2,346	2,368
移動支援事業	実利用者数	26	17	11	11	18	15	15
	延利用時間（時間/月）	609	414	461	442	416	345	345
地域活動支援センター事業	設置数	4	4	4	4	4	4	4
成年後見制度申立	市長申立件数	1	0	0	0	1	2	3
成年後見制度報酬支払	報酬支払件数	0	3	2	3	3	5	6
市民後見人養成研修	修了者数	7	10	1	4	3	実施	実施
ボランティア活動支援事業	参加者数	22	26	40	27	28	実施	実施
	事業数	1	1	1	1	1		

(2) 任意事業

事業名	単位	第5期障がい福祉計画			第6期障がい福祉計画			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度
		実績	実績	実績	実績	実績	見込量	見込量
日中一時支援事業	実利用者数	105	94	77	71	62	88	86
	事業所数	20	20	21	21	22	—	—
訪問入浴サービス事業	実利用者数	2	4	4	4	4	4	4
	事業所数	3	3	3	3	3	—	—
生活訓練事業	参加者数	81	86	10	10	80	実施	実施
	事業数	2	2	1	1	1		
本人活動支援事業	参加者数	83	78	17	16	60	実施	実施
	事業数	2	2	1	1	1		
点字・声の広報等発行事業	奉仕員登録者数	63	61	69	64	67	60	60
	事業数	3	3	3	3	3	3	3
手話奉仕員養成研修	修了者数	43	40	13	23	26	20	20
	コース	2	2	2	2	2	2	2
朗読奉仕員養成研修	修了者数	37	36	39	37	39	40	40
	コース	1	1	1	1	1	1	1
点訳奉仕員養成研修	修了者数	6	4	8	7	12	10	10
	コース	1	1	1	1	1	1	1
自動車運転免許取得・改造助成事業	利用者数	5	4	5	3	3	4	4
	事業数	2	2	2	2	2	2	2

【第6期計画期間中の状況】

移動支援事業の実利用者、延利用時間は、見込量を上回っている。

任意事業生活訓練事業、本人活動支援事業の参加者数は、令和元年度の水準に戻り、社会活動の広がりが見られる。

手話奉仕員養成研修は、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して開催しており、研修終了者数は少なくなっている。

4 地域生活支援拠点

(令和5年3月末現在)

機能	機能の内容	登録数
①相談	緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う	4
②緊急時の受け入れ・対応	短期入所を活用した常時の緊急受入体制を確保した上で、介護者の急病や障がい者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う	5
③体験の機会・場	地域移行支援や親元からの自立等に当たり、共同生活援助等の障がい福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する	10
④専門的な人材の確保・育成	医療的ケアが必要な方、行動障がいがある方又は高齢化に伴い重度化した障がい者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保及び専門的な対応ができる人材の養成を行う	10
⑤地域の体制づくり	地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保及び地域の社会資源の連携体制の構築等を行う	11

【第6期計画期間の取組等】

令和3年4月以降、制度周知を中心に取り組んできた。

今後は、緊急時の支援が見込めない世帯の把握だけでなく、センター連絡会において「相談」「緊急時の受け入れ・対応」の課題整理を行い、運用面の整備を図っていく。

5 令和4年度ひきこもり支援対策

(1) 相談事業

ア 射水市ふくし総合相談センターすてっぷ（射水市社会福祉協議会内に設置）  
延相談件数937件（令和3年度 755件）

イ 専門相談会

12回開催 相談件数27件（令和3年度 33件）

(2) 居場所（すてっぷカフェ）の提供

毎月第1金曜日 12回開催 延利用者数39人

(3) ひきこもりサポーターの養成

ア ひきこもりサポーター養成研修会

令和4年10月16日、10月21日開催

修了者数22人

内容	講師
ひきこもりの理解	(医社)仁清会 グリーンヒルズ若草病院 院長 片町 隆夫氏
ひきこもりの心理に合わせた傾聴法	特定非営利活動法人りばていーOne 理事長 坂本 美奈子氏
支援者(当事者)の話を聞いて理解を深めよう	(一財)メンタルケア協会富山事務所 精神対話士 前木場 昭氏
ひきこもりサポーターの心構えや自分たちにできること	富山福祉短期大学 社会福祉学科 講師 中村 尚紀氏

イ ひきこもりサポーターフォローアップ研修開催

令和4年12月16日開催 受講者数29人

内容	講師
「ひきこもりサポーターの心の整え方～燃え尽きないための自己覚知のポイント～」ロールプレイ・グループワーク 事例から学ぶ-ひきこもりサポーターの役割	富山福祉短期大学 社会福祉学科 講師 中村 尚紀氏

(4) ひきこもりサポーターの派遣

すてっぷカフェの事業運営の参加（実人数：22名 延人数：78名）

(5) ひきこもり当事者の自立支援

- ア 生活困窮者自立相談支援事業（うち、ひきこもり支援事業対象者）  
利用者数43人
- イ 就労準備支援事業（生活自立支援、社会参加支援等）  
利用者数2人

【第6期計画期間の取組等】

開設3年目となった射水市ふくし総合相談センターすてっぷの延相談件数が、前年に比べて約2割増加しており、地域の相談窓口として少しずつ周知されてきたことによると考える。

今後も、当事者の居場所運営への参加などひきこもり支援に携わる「ひきこもりサポーター」養成研修を実施し、また、人材の育成に努めていく。